

教育支援プログラム(A)



取組名称	取組Aー地域連携型学習プログラムの開発・導入の推進
取組学部等	人間科学部
取組期間	2020年度

取組概要

2007年以降、人間科学部コミュニティー・サービス・ラーニング（CSL）を契機に展開してきた小取組の継続発展と新規の小取組のスタートを願ってのものである。その後、各方面から財政支援を頂いた小取組もある一方、学内GPや教育IP、また学院100周年記念事業も終了し財政的な基盤を失った取組も存在する。人間科学部の教育活動と関わって行われてきた地域貢献活動はこれからも重要な要素であり続けることにはかわりなく、例え一定の収入のある取組であっても安定的な運営のためには一定の財政基盤を必要とする。本取組はそれを提供するものである。

また、人間科学部 CSL の取組により各々推進された小取組はそれぞれに異なる展開を見せた。中には今後の教育改革のヒントを示す発展を見せたものもある。一方、この10年間で学部を構成する1/3強の割合に当たる新たな教員を迎え、同種の新たな小取組のスタートも待たれるところである。そうした新規立ち上げにあたっては方法知の共有も必要となるところであろう。

本取組は既存の小取組を維持し新たな小取組を生む財政的基盤に、また地域貢献型の取組の維持・発展のための方法知を学部内で共有すべく展開するものである。

■既存の小取組の維持

人間科学部 CSL 以降、継続発展してきた「チルドレンズ・ミュージアム」「科学の公園」他、自然科学教育における地域貢献プログラムの継続発展を図る。

■地域貢献型の新規小取組の支援。

2018年度には学生がアーティストの協力を得て文化振興事業に参画する取り組みを導入した（コンサート企画4件）。学校へのアウトリーチも組み合わせ社会的意義を学生自身が感じられる企画になった。新年度も改めて企画の発展を目指したい。